

広報オススメ本 2月 テーマ「雪の日」

「ぼくはきっとやさしい」

町屋 良平／著 河出書房新社

まぼろしのようなけど、瞳に降る雪をみたのだ…。
女性に振られまくる悩み多き青年の恋愛小説です。



「冷たい校舎の時は止まる」

辻村 深月／著 講談社

校舎に閉じ込められた8人の高校生。
彼らはある同級生の名前が思い出せない
ことに気づく。



「大雪物語」

藤田 宜永／著 講談社

観測史上最大という豪雪に見舞われたK町を
舞台に、非日常がもたらす6つのドラマを描いた
作品です。

